

文化財
まちあるき
マップ

原 編

東海道原宿周辺（植田～大塚）の文化財をめぐる



帯笑園



タカオさんとジッキー２号

“まちあるき”の際は、車に十分注意しましょう！

沼津市教育委員会

モデルコース A

～じっくり歩きたい人むけ～

歩行距離 5.1 km 所要時間 約 3.5 時間
消費カロリー 236kcal

- スタート J R 原駅
- ↓ 1,000m 13 分 46kcal
- ① 富士浅間神社(六軒町)
- ↓ 950m 12 分 44kcal
- ② 徳源寺
- ↓ 350m 5 分 16kcal
- ③ 帯笑園
- ↓ 80m 1 分 4kcal
- ④ 無量堂(白隠禅師誕生地)
- ↓ 170m 3 分 8kcal
- 白隠のみち ↓ ⑤ 松蔭寺
- ↓ 980m 13 分 45kcal
- ⑥ 図書印刷沼津工場
- ↓ 1,590m 20 分 73kcal
- ゴール J R 原駅

モデルコース B

～早足でまわりたい人むけ～

歩行距離 1.8 km 所要時間 約 1.5 時間
消費カロリー 82kcal

- スタート J R 原駅
- ↓ 290m 4 分 13kcal
- ① 徳源寺
- ↓ 350m 5 分 16kcal
- ② 帯笑園
- ↓ 80m 1 分 4kcal
- ③ 無量堂(白隠禅師誕生地)
- ↓ 170m 3 分 8kcal
- 白隠のみち ↓ ④ 松蔭寺
- ↓ 890m 12 分 41kcal
- ゴール J R 原駅

カロリー計算 体重 60 kg, 80m/ 分

原地区の歴史年表

旧石器	約 37,000 年前	
縄文	約 16,000 年前	千本浜の海岸が形成される
弥生	約 3,000 年前	●下道遺跡 ●六軒町遺跡 ●雌鹿塚遺跡 ●雄鹿塚遺跡 ●中原遺跡 ●上原遺跡
古墳	西暦 250 年頃	●御殿場遺跡
飛鳥奈良平安	710 年	●中原遺跡 ●大塚古墳
鎌倉	1185 年	●清梵寺 ●阿野全成 ●源頼朝 ●富士浅間神社(六軒町) ●松蔭寺 ●西念寺 ●徳源寺 ●阿野庄 ●原中宿 ●甲州街道 ●昌原寺
室町(戦国)安土桃山	1600 年	●東海道 ●浅間神社 ●原宿 ●渡辺本陣 ●帯笑園 ●長興寺 ●大通寺 ●白隠禅師 ●庚申塔・甲子塔 ●増田平四郎 ●農兵原宿小隊
江戸	1868 年	●原町誕生 ●初学舎 ●又新館 ●始進舎 ●原駅(原停車場) ●浮島村と合併 ●図書印刷沼津工場 ●第二昭和放水路 ●沼津市と合併 ●帯笑園開園
明治		
大正		
昭和		
平成令和		



県指定史跡白隠禅師墓

としょういんざつめまづこうじょう
⑥ 図書印刷沼津工場 (大塚)

DOCOMOMO JAPAN 選定「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」

昭和 29 年(1954)、全国の小学校教科書の印刷のため、国家的プロジェクトのもと建設された。設計は広島平和記念資料館や代々木第一体育館(いずれも国指定重要文化財)を設計したことで有名な丹下健二。中央の柱が長さ 90 メートルの梁を支える構造で、工場内部に広い無柱空間を設けた先駆的な設計がなされている。(内部の見学不可)

ふじせんげんじんじゃ
① 富士浅間神社 (六軒町)

建久年間(鎌倉時代の初め頃)の創建。社殿が南を向き東海道に背を向けている。これは、慶長 14 年(1609)に付け替えられる以前の東海道またはその前身の街道(甲州道)にあわせて神社が造営されていた名残だという。神社は何度も建て直されてきたが、古來からの社殿の向きはずっと守られている。

とくげんじ
②① 徳源寺 (原西町)

臨済宗妙心寺派の寺院で、執権北条時宗の創建と伝わる。この地には「御殿場」という地名が残っており、源頼朝が富士の巻狩りの際、ここを陣営としたことに由来すると言われている。境内には頼朝お手植えの松の子孫とされる松や帯笑園の元園主植松家の墓所がある。

たいしょうえん
③② 帯笑園 (原西町) 国登録記念物 【表紙の写真】

戦国大名武田家の家臣を祖に持つ植松家は、戦国時代終わり頃に原に移り住み、以来代々開墾・植林に勤しみながら花卉類を収集し、花長者と言われるようになった。特に芍薬や万年青、松葉蘭、桜草の収集家として有名になり、その庭は菊花園・植松叟花園と呼ばれ、のちに海保青陵によって「帯笑園」と名づけられた。帯笑園には東海道を行き来する大名・公家・文化人が立ち寄り、花奔類と文芸文化の交流の場として大いに賑わい、植松家に残る芳名帳には名だたる文人墨客、大名、公家、皇族の名が記されている。園内には大正天皇から種を頂いた大王松をはじめとする樹木や蓮の鉢などが残り、往時の雰囲気を感じさせている。現在は沼津市による整備工事が平成 31 年に完了し、一般公開している。

むりょうどう はくいんぜんじ
④③ 無量堂(白隠禅師誕生地) (原東町)

臨済宗中興の祖として名高い白隠禅師は、貞享 2 年(1685)に原宿の長澤家の三男として生まれ、幼名は岩次郎といった。この地は長澤家の旧宅があったところで、白隠が生まれた頃からあったとされる井戸が現存しており、「産湯の井戸」として当時の姿を伝えている。現在この地には無量堂が建てられ、白隠の遺徳を偲んでいる。

しょういんじ
⑤④ 松蔭寺 (原東町)

臨済宗白隠宗の大本山で、創建は弘安 2 年(1279)。江戸時代に白隠禅師が住職を務め、全国から多くの僧が白隠のもとに集まり修行した。境内には明和 5 年(1768)に入寂した白隠の墓があり(写真右ページ)、県の史跡に指定されている。他にも、白隠自画像、科註妙法蓮華経(いずれも県指定有形文化財)、木造白隠禅師坐像(市指定有形文化財)、珍しい石造りの瓦が葺かれている山門や平面が八角形をした開山堂(いずれも国登録有形文化財)など数多くの文化財がある。

文化財 原編

まちあるきマップ



石造物ガイド

石仏 仏様が彫られた石造物の総称。地蔵様や賽の神、様々な種類があります。

馬頭観音塔 馬頭観音は頭に馬を乗せた観音様。庶民の間で馬の健康や死んだ馬の冥福を祈るため江戸時代に多く建てられました。

庚申塔 庚申の日の夜、寝ている人から三尺（さんし）の虫が抜け出し、天帝にその人の罪を告げるとされます。三尺が抜け出ない一夜を眠らずに過ごす「庚申講」を行う人々が建てた石造物です。

甲子塔 甲子の日の夜、人々が集まって大黒天を祀り、夜遅くまで雑談をする行事を「甲子待」といいます。甲子講の人々は、「甲子塔」「子待塔」「大黒天」の文字を刻んだ石塔を建てました。

石造物 上記以外の石碑・記念碑・中世の墓など



- 古墳（円墳）
- 神社・祠
- 石碑・石造物
- めまづの宝 100 選
- 石蔵
- 遺跡
- 寺院
- 水源・水場
- 立ち寄り店
- 土蔵
- 白隠のみち
- 潮土手
- 工事中



- モデルコースA** スタート 7分 ① 富士浅間神社（六軒町）12分 ② 徳源寺 5分 ③ 帯笑園 1分 ④ 無量堂（白隠禅師誕生地）3分 ⑤ 松蔭寺（白隠禅師墓）12分 ⑥ 図書印刷沼津工場 20分 ゴール JR原駅
- モデルコースB** スタート 4分 ① 徳源寺 5分 ② 帯笑園 1分 ③ 無量堂（白隠禅師誕生地）3分 ④ 松蔭寺 12分 ゴール JR原駅